

表彰の対象と種類

表彰の種類	対 象	件数	副賞
1 大賞	子ども・子育て支援活動のモデルと なる実践的な活動で、地域の子ども や子育て家庭に対する貢献度が高い と認められるもの	1 件	20万円/件
② 奨励賞 事業者部門 個人·団体部門		各部門数件	10万円/件
₿草の根賞	地域に密着した活動により特にその 実績が著しいと認められるもの	数件	4 万円 / 件
4 特別賞	複数の団体の連携・協働により特に その効果・実績が著しいと認められる 活動及びネットワーク	1 件	15万円/件

- ※ 県内において、原則として令和3年4月1日現在で2年以上継続して表彰の対象となる活動に取り 組んでいることが必要です。
- ※ ①~③は知事表彰、④は知事と神奈川県子ども・子育て支援推進協議会会長の連名表彰です。

応募 方法

所定の応募(推薦)書に必要事項を記載のうえ、郵送してください。

▶ 郵送先

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課

▶ 応募書やこれまでの受賞団体については、次のアドレスをご覧ください。 http://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/shientaisyou.html



かながわ 子ども・子育て支援 検索

応募締切

令和3年7月9日(金)

※ 当日消印有効



神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課 TEL 045-210-4666 FAX 045-210-8956



表彰候補を募集します!



第15回

かながわ 子ども・子育て支援大賞

県では、事業者や個人・団体等が取り組む 子ども・子育て支援活動のモデルとなる活動に対して、 毎年、かながわ子ども・子育て支援大賞として表彰しています。 皆様が現在取り組まれている活動、 あるいは、ご存知の素晴らしい活動について、 是非ご応募ください。



第14回 かながわ子ども・子育て支援大賞等表彰受賞団体のご紹介

大賞 一般社団法人 ユガラボ



子どもからお年寄りまでの多世代が自由に過ごす「居場所」で中心に、多世代が共に学」、対話する「多世代共創塾」、かは「多世代共創塾」、かは「はないでは、またなる「ゆがわらっとを事を作り食卓を知られた。また、場所」を実施している。といる。また、は、子どもたちのセーフティネットを確立している。

奨励賞 子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋



小・中学生に無償で楽しい学習支援の 場を提供するとともに、学習習慣の定着 に資することで学力保障の一助とするため、将来、夢や希望を持って進級・進学 できる子どもの健全育成に「地域の教育力」を活かして取り組む。また、中高 生ボランティアが小学生を教える学習支 援活動や支援員の養成研修のほか、保 護者からの相談にも対応している。

草の根賞 NPO法人 未来経験プロジェクト



平塚市内4か所で、子ども食堂では珍しい朝食の提供を含む活動を展開しているほか、学習支援や職業・農業体験などの事業を実施し、「子どもたちが夢を描き、それを地域の大人が支える未来」の実現に向けて取り組んでいる。また、子どもの居場所を増やし、活動の裾野を広げるため県内企業・団体にモデルケースを示して事業の立ち上げを支援するなど、担い手の育成にも尽力している。

草の根賞 一般社団法人 ふらっとカフェ鎌倉



家庭環境、性別、年齢関係なく「誰も」が「ふらっ」と気軽に立ち寄れる、多世代交流型の食を通した居場所づくりを実現している。鎌倉市内初の移動式地域食堂を運営しながら、他の子ども食堂の立ち上げや運営を支援しているほか、鎌倉市と協力して構築したフードパントリーの仕組みにより各家庭への食料支援を行うなど、様々な地域貢献活動を行っている。

草の根賞 虹の会(口唇口蓋裂児の親の会)



長年にわたり、口唇口蓋裂児の保護者の、不安や悩みに寄り添い、支援活動を続けている。口唇口蓋裂児を育てた経験者が中心となり、情報交換会を通じて、同じ立場から、口唇口蓋裂児を育てる若い保護者たちの相談に応じているほか、育児不安を解消するための勉強会を開催して、子育てを支援している。

特別賞 横浜市中区医師会



外国人家庭における子どもの怪我や病気の発症は、保護者に大きな不安をもたらすことから、独自に作成した「22か国語に対応した来訪患者通訳表」を活用して症状の確認や説明を行うほか、医師自身が外国語を習熟することで、医師による通訳を実現し、不安の払しょくに努め

ている。また、医師による外国語を駆使しての支援は、乳幼児健診や学校保健の場などでも力を発揮している。